

【別紙様式】

熊野町は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	生活交通バス路線維持支援金		
総事業費 (千円)	14,400千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	14,400千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナにより大きな影響を受け、利用者が減少しているなか、利用者の3密を避け、安心・快適に利用してもらうため減便を行わず運行を行った公共交通事業者に対し、経営支援することを目的に予算の範囲内において支援給付金を交付する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金：熊野町内の営業所に登録のあるバス 24台×60万円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 熊野町内に営業所を有するバス事業者（広島電鉄株式会社）1者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 町内を運行する路線バスは、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受け、利用者が減少している。しかしながら、路線バスは町民の移動手段として必要不可欠であることから、減便を行わず、利用者の安心・快適な利用に配慮しながら運行している事業者を支援するため、支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、本町における公共交通が維持される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>公共交通事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用者の大幅な減少により、厳しい経営環境にある。</p> <p>町内に営業所を有するバス事業者を交付対象者として支援金を交付し、町内の公共交通の維持を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		